

千葉県精神障害者地域移行支援事業  
高齢入院患者地域支援事業の概要

## 1 事業目的

病院内の医師、看護師、精神保健福祉士等の多職種と、相談支援専門員や介護支援専門員といった外部の関係者がチームとなり、地域の障害福祉サービス事業者等と十分に連携の下、退院に向けた支援を、医療機関に委託し、将来的な一般制度化に向け、モデル的に実施する。

## 2 事業年度及び委託先

平成25年度 平成25年10月から3病院（海上寮療養所、木更津病院、市原鶴岡病院）  
平成26年度 平成26年4月から3病院（海上寮療養所、木更津病院、市原鶴岡病院）  
平成27年2月から2病院（聖マリア記念病院、三芳病院）  
平成27年度 平成27年4月から5病院（海上寮療養所、木更津病院、市原鶴岡病院、  
聖マリア記念病院、三芳病院）

## 3 事業の対象者

委託先医療機関（以下、「委託機関」という。）に入院している、概ね60歳以上、かつ主診断名が統合失調症の入院患者とする。

（※本事業は、高齢入院者1名を退院させることが目的ではなく、より多くの者（少なくとも2名以上）に対して退院に向けた支援を行うことを目指すものである。）

## 4 事業内容

### （1）退院支援員の配置

委託機関は、精神保健福祉士等、退院のための支援や調整に係る「退院支援員」を1名以上配置することとする。

配置する退院支援員は、他の業務と兼務する職員、又は現に60歳以上の高齢入院者を含め退院支援を行っている職員であっても差し支えないが、その場合、他の業務と兼務する職員においては本事業による業務と他業務との勤務日及び時間を明確に区分し、現に退院支援を行っている職員においては本事業の遂行にあたり支障をきたさないこと。

退院支援員は、以下に掲げる業務と行うこととする。

ア 入院患者の中から3に該当する者のうち、主治医から病状が安定しており退院が可能であると判断された者の中から対象者を選定する。

イ 退院支援員は、医師、看護師、精神保健福祉士等院内の多職種と、相談支援専門員や介護支援専門員等地域における関係者からなるチームを組織するものとする。

ウ 退院支援員は、対象者の状況を正確に把握した上で、チームの構成員の意見を反映させた支援計画の立案を行い、各チーム構成員の支援状況を把握し、適宜評価及び方針の見直しを行うこととする。

エ 退院支援員は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域移行支援事業の対象となった者や支援の途中で退院した者、対象者の病状悪化等により退院支援の継続が困難になった者を支援終了とし、チームの構成員において要因分析を行うこととする。

(2) 専門部署の設置

委託機関は、退院のための支援や調整に係る専門部署を設置することとする。  
なお、既存のものと併設する場合は、専門部署であることを明記すること。

(3) 地域移行支援協議会との連携

ア 退院支援員は、県が別に委託する千葉県精神障害者地域移行支援事業における地域移行支援協議会に参加するものとする。

イ 退院支援員は、地域移行支援協議会において(1)アからエに掲げる事項を報告し、助言を得るとともに、必要な場合は、協力を求めることとする。

(4) 遠隔地退院支援

委託機関は、退院先が遠方のために退院が困難な入院者を支援する遠隔地退院支援に積極的に関与するものとする。

<高齢入院患者地域支援事業のイメージ図>

